再度問う　オレ自身と　君とに

なぜ本日の学長団交要求ストライキに決起するのか？

＝美しいコトバにはトゲがある　みにくいカラスはクジャクの羽根で身を飾る＝

「話し合い路線」を回復するための機動隊導入?!

9月中、3度にわたってなされた府警の強制捜査に対する大学当局のアイマイな態度を追及する学友諸君の学長団交〈11月28日〉を一方的に拒否し、機動隊ドー入によって応えた渡瀬執行部は、11月11日現在、没論理的な「正常化路線」をひたすら歩んでいる。

「話し合い」の場を回復するための機動隊ドー入」という彼らの「基本方針」なるものが全くマヤカシのものであることが日々の事実によって明らかに示されている。日々の事実とは何か。まさに、「全共斗、文斗委を話し合いの相手とせず」であり、機動隊の半永久的駐留であり、(キ)ドー入の自己批判抜きの強圧的授業再開であり、授業をクラス討論に切りかえようとする学生に対する妨害活動であり、「単位」「留年」「九十策」をドウカツとした切くずし策動であり……等々。

拒否からの出発

諸君。現在の市大が果して「理性の府」であるのか。青い制服の機動隊に守られた場が「批判の府」であるのか。問うほうがヤボだろう。大学当局の言う「理性」や「批判」というコトバの美しいひびきに、もはや我々はだまされはしない。

機動隊をドー入して平然と居直る「理性」にや、国家の暴力装置たる機動隊と共存共栄できる「批判」を、我々は断固拒否する。この拒否は、我々の存在のすべてをかけた拒否であり、我々は拒否することによって、我々の内部にかすかに息吹く〈かすかでしかないことが、まことに残念だが〉理性と批判精神を未来へ向って出発させることができるのだ。学問研究とは、まさにそれ以外に何が考えられよう。

死大に巣食うみにくいカラスの群れ

大阪市大は、まさしくあんだ大学、〈死大〉である。機動隊に守られて授業を強行する教官と、それに無批判に追随する学生が、死人にたかるカラスのように、杉本原野に群がっている。

だが、諸君。我々はそうではない。我々は生きている。我々はまさしく今、自らが生きている証しをたてなければならないのだ。我々は死臭のただよう授業再開を拒否し、みにくいカラスになることを拒否する。我々が拒否しなければ、だれが〈死大〉を拒否するのか。だれが、理性と批判精神を未来へ向って出発させることができるのか。

自らの思想的、論理的破産を自覚しえない教官たちには、我々は軽べつの眼をくれてやればいい。我々は、彼らみにくいカラスどもをブッ殺す必要は今、求めすでといでいる。我々は自主講座、討論会などを我々自身の手で組織し、我々の思想的武器をとぎすますだろう。みにくいカラスども、貴様の首をよく洗っておけ!!。

友よ、夜明けは遠い・・・・

我々が今日のストライキに起つこと——それはみにくいカラスの群れに対する挑戦であり、我々自身の弱さに対する挑戦であり、そして、我々の内部にうずく〈人間の心〉への限りない愛の表現なのである。

友よ、夜明けは遠い。遠いからこそ、我々はますます闘志をもやし、武器をとぎすまさねばならないのだ。

諸君!!。木枯しの中に雄々しく起ちあがれ!!。

渡瀬—直木体制を骨のズイまで打倒せよ!!。

中国学で、国文で、独文で、心理学で、西洋史で、日本史で、教育で、あらゆる学科で起ちあがっている。団交要求ストに起て!!

※本日12時教養芝生、文・スト実共闘結成大会。

主催　全学統一実現集会　エーカテダン準生

文・スト実共闘（準）